



La Scuola Aziendale Alfa Romeo  
アルファ・ロメオの歴史  
(by Elvira Ruocco)

記事 7

アルファ・ロメオ企業スクール

“自動車造りの前に、人作りあり”

ゼネラルマネージャーのウーゴ・ゴッパート(1933-1945)に委ねられた企業再編プログラムの中にアルファ・ロメオ企業スクールの設立がありました。



スクールはその活動を 1936 年に開始し、大学院学位プログラムおよび認定技術者養成校と、職業訓練校の 2 つのセクションに分かれていました。職業訓練校は若年層が対象で、14 歳、15 歳といった子供たちも対象にしていました。(従業員の子供たちや貧しい家庭の子供たちが優先されていました)

期間は 3 年で、その教育はとても厳しいものでした。3 年生の学期末には「ブローヴァ・ディ・カーボラヴォーロ(技巧証明)」と呼ばれる実技試験が課せられました。校内には、1938 年 7 月 29 日に国家機関の労働者の組織「イ・ピッコリ・ディ・パドレ・ベッカーロ(ベッカーロ神父の子供たち)」ミラノ支部が設置されました。1936 年からすでにアルファはその組織に教育の場を提供して、車両開発・生産現場に送り込むべく、エンジニア、メカニック、労働者の養成をしていたのです。ポミリアーノから来ていた若者たちも職業訓練校修了後にこの組織の 2 年コースで教育を受けていました。

1944 年 6 月には、多くの労働者(主にアルメニアからの労働者)からの要望で、無料の「テクニカル・ドローイング(図面)読み取り夜間コース」が開講しました。

コース開講の通知文書(1944 年 1 月 6 日付け)は次のようなものでした。

多くの労働者の要望に応えるべく、6 月 6 日より夜間デザインコースを開講します。  
このコースは、テクニカル・ドローイング(図面)の読み取りが容易にできるようになることを目的とし、とても業務に役立つものとなっています。  
コースは無料で、工場入口にて受講登録を受け付けます。  
毎週水曜日と金曜日の午後 8 時から 9 時まで、ヴィッラ・ヴィルジーニア内にクラスを用意して開講します。  
受講生は鉛筆、消しゴム、定規、コンパス等を持参のこと。  
講師には、G. スカルナーティ・ガッティ教授を予定しています。

若年層を対象とした 2 年または 3 年の機械工学コース、そして大学卒業業者や選りすぐりのエンジニアを対象とした専門コースを展開しながら、アルファ・ロメオ企業スクールはエンジニアや労働者の養成の場であり続けました。アレーゼ工場の誕生、つまりジュリアの生産立ち上がりには、組立、縫製、オーバーホールといった分野の専門家をさらに育て上げる必要がありました。発売開始直前には、初期生産車両にモディファイを施すべく、彼らは専門スタッフとして各国のアルファ・ロメオ拠点に派遣されました。1966 年までには IRI (イタリア産業復興公社) グループ企業の専門化育成のための国際的な教育機関となっており、スクールはアレーゼに移転し、人事部とのコラボレーションで専門教育機関として大変評価されていました。スクールは 1996 年、他のすべての IRI (イタリア産業復興公社) が経営していた育成センター同様に、閉鎖の道をたどりました。スクールの元職員は C. A. R. A. (アルファ・ロメオおよび IRI 国際専門化育成センターの仕事仲間) という名前の協会を設立し、その登録メンバーは年に一度、観光地を巡りながらサンタ・メッサ(聖なるミサ)に出席したり、ランチを楽しんだりしています。校長を務めたのは、年代順に、ゼーニ、トゥラブッチ、アブッルツツェーゼの各エンジニアでした。



Elvira Ruocco

著作権について

このページに記載されているすべてのマルチメディア素材やテキストはコンテンツの作者または所有者の許可なく複製することはできません。特に、エルヴィーラ・ルオッコ氏および ARCHIVIO STORICO ALFA ROMEO (アルファ・ロメオ歴史アーカイブ) のテキストと画像を許可なく複製することを禁じます。Club AlfaSport はエルヴィーラ・ルオッコ氏および [ARCHIVIO STORICO ALFA ROMEO \(アルファ・ロメオ歴史アーカイブ\)](#) より、明確な承認を得てページを公開しています。

Translation by Kimihiko Aoyama

---

[前記事へ](#)

[メニューへ](#)

---